

☆作業日あれこれ

午後から忘年会になる12月の作業日は、天気予報では曇りということで一安心しておりました。夜半の雨音に、ここは希望的観測で朝になれば雨も上がると考えていたのですが、残念ながら出かける頃になっても雨は上がり雨の中、観察会スタートです。せっかくの忘年会の日にも関わらずこの雨で参加者が少なくなるかなとの思いもありましたが、午前中の作業だけ参加という方も含めると本日の参加は50人ちょうど、雨にも負けず賑やかな作業日となったところはさすがです。



新橋の渡り初め

観察会は通称盆栽お宅殿が担当で、草原広場の杉とスギの違いからです。昨年、大先生により草原広場のわずかな高低差(土壌の乾湿)に適応した形で、高い乾燥した場所には株立ちスタイルの杉の群落、低い湿気た場所にはスギにそっくりだけれども竹のように地下茎を通して広がる杉の群落が生育しているのを確認されました。改めてその復習です。草地を森林に遷移することから保全するために、山焼きで管理される秋吉台や阿蘇山などの話も出ました。こうした保全活動では、防火帯を確保するための広範囲な作業に多くの人が必要なことや、煙に巻かれての事故などの問題を抱えており、里山保全活動以上の難しさがあるようです。次はモジの林に移動して、モジの林のイハカエデ、クマにとって個人的な思いのあるイハカエデ、昨年発見されたウリカエデをそれぞれ現物を前に解説しました。よく似た名前にウリカエデ(瓜肌楓)がありますが、ともに樹皮がマクワリの若い頃に似ているからですが、ウリカエデは余り高くなり秋にはイハカエデと同じく黄葉、ウリカエデは黄色から赤身を帯びたオレンジに色付くようです。この森には、他にも葉が深く切れ込み、その形が猿の手に似ているのでエンコウカエデ(猿猴楓)と名があるカエデがあると大先生が補足、しかし彼は仕入れた初を全部話さなくてはと熱が入り、延々と観察会は続いておりました。観察会の最後には、野鳥観察小屋のある池の周りに移動し、遊林会のベテラン達により池に沿って車椅子で通れるように作った新しい観察路の開通式テープ・カットをやることに

なったのです。こだわりの自然土舗装材を使用した路盤や、水に強い国産材の刈やヒキの心材を利用した水路をまたぐ橋の整備によって、車椅子での森の大回り一周がやりやすくなりました。せっかく車椅子が通行できるようになったのだからと、車椅子生活経験のあるクマに渡り初めが求められました。整備された路盤や橋は苦労して勾配が抑えられており、楽々と通行することができました。軽トラ野郎殿は、「ええもんや！」と自画自賛をされておりました。

雨の中の作業でしたが、草原広場では6台の刈払機がエンジン音を響かせ、スギや杉を刈り取っていました。一網打尽とはいえ、一部のヤギやクマにはテープの目印を付け、かつての大先生呆然事件(クマ犠牲)にならないように留意されているのはもちろんのことです。今回もワケ枯れ調査がされていましたが、どこを彷徨って



クリスマスコンサート

いたのか、森の中で彼等に出会うことはありませんでした。

第2駐車場の近くの竹林では今月もクラフト用竹材の伐り出しが行われ、この中には作業小屋も何もなかった頃、車椅子の奥さんと一緒に参加されていた方の姿もありました。作業小屋では、餅つきやこれも恒例になった焼き焼きパーティの準備です。正午になれば餅つき開始ですが、午前中のクラブ活動を終え駆け付けたいつもの高校生と父親もいましたが、蒸し上がった餅米をこねるとギャラーから腰が入ってないとか多くの声がかかりました。彼等が餅つきの前座、途中でベッコ達がそれぞれ餅つき体験、仕上げは力任せにつく(本人は力に非ず、要領でつくのやと申しておりましたが…)ヘムスロイド村御一行様の出番です。つき上がれば一年間の活動の無事に感謝して大先生の発声で乾杯、忘年会が始まりました。クマは森守堂の囲炉裏に火を熾し、二次会の準備をしておりましたので、作業小屋での本番が終わればワケ共はそちらへ移動です。ホームページには面々の集合写真がアップされていますが、その中にはウイスキーのボトルを逆さまにして、飲みきったことをさりげなく語る親方の姿が全てを語っているようです。こうして12月の第2土曜日の作業日は過ぎて行きました。

1月27日(水曜日) 週日活动 森の居酒屋は1月6日 午後7時頃～

1月9日(第2土曜日) 9時～(遅刻可)

主催者：遊林会

連絡先：東近江市 花と緑の推進課 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210 当日連絡先：携帯(丸橋)090-3352-3163

Eメールでも、ご意見をお待ちしています。E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

2009年最後の活動日は第4水曜の23日。この日は祝日で、いつもより少し人数が多く23人の参加がありました。作業は枯損木の伐採を中心に、年末らしく森の枯れ枝除去作業です。まずはピザ窯裏で枯れていたアケボノの木を伐採。久々のチェーンソー仕事です。結構大きなかだったので、伐採して玉切りした後は薪割り班と枝の処理作業班に分かれました。昨年末、世間が年末休みに入った初日にこの地域には近年まれに見る大雪が降り、たいへん多くの木や枝が折れてしまいました。遊林会では1月の作業から早速その処理を始め、ほぼ毎週作業し続けましたが、それでも処理をほぼ終えたと言える状況になったのはようやく5月に入ってからのことでした。これだけ作業してもまだ折れた枝が残っているところがあり、この日は手の届く（高枝ノコギリが届く）範囲だけでもやろうと1年越しの処理作業も実施しました。単なる折れた枝といっても、太いものでは直径20cmを超える物もあり、薪割り機で割るほどの「枝」もあってなかなか手間のかかる作業です。この日の作業は午前のみで終了、かくして2009年の作業も無事に終了することができました。

そして第4水曜日といえば豪華な昼食メニュー。本年最後を飾るにふさわしいメニューはやはり松本さんのおから。そしてこの日は祝日ということで参加いただいた山田棟梁が、ピザ窯を使ってピザを焼いた他、見事な鯛の塩釜を2尾焼いてくださいました。偶然にもこの日は夕刻からクリスマスコンサート。リハーサルのため12時に到着された演奏者の清水さんたちにお昼をご一緒にとお誘いしたところ、超豪華な昼食メニューにキャーキャーと歓声が上がっていました。女性を中心とした昼食づくり班の方々には、今年もおいしいお昼ごはんをたくさん作っていただきました。ちなみに2009年1月から12月の間、木ままクラブをのぞく遊林会定例活動は24回、参加人数は677人です。つまり約700人分の昼食を作ってくださいましたわけです。本当にありがとうございました。

☆いきものの森・スタッフルーム情報

12月16日の高校生の体験作業を最後に、今年の子どもたちへの環境学習は終了しました。この秋は新型インフルエンザや台風の影響があったものの忙しさは変わらず、12月上旬の最後の団体ピクニックを迎える頃にはスタッフもハトハトでした。が、何とか全員インフルエンザにもかからず、無事に多くの子どもたちと森での楽しい時間を過ごせたことをうれしく思います。かといって1月以降学校が来ないかということそれがそうでもなくて、3月までの間に4つの小学校・保育園が予約済みで、それぞれ「冬」の森を楽しむために来訪されます。最近、知り合いの方などから「この前うちの子どもが（もしくは孫が）学校から森に行っ

てきてね、『面白かった！』って言ってたわ！」という声を度々聞くようになりました。ありがたいことです。来年も子どもたちをはじめたくさんの方に「森は楽しいところ」と思っていただけのようにしてまいりますので、よろしく願います。

☆森のクリスマスコンサート

第4水曜活動日の夕方に行われた恒例のクリスマスコンサートは、おなじみ大阪センチュリー交響楽団の清水さんはじめ女性4人による弦楽四重奏でした。お昼に遊林会の豪華昼食を食べて頂いたせいでしょうか!?今回も熱のこもった演奏をお聴かせいただきました。メインプログラムのチャイロスキー弦楽四重奏曲第一番をはじめ、後半からは山下達郎のクリスマスソングに始まり、青い山脈やいい日旅立ち、川の流れるように、涙そうそう、そして見上げてごらん夜の星をなど聴きなじみのあるラインナップで楽しませていただきました。大阪府をはじめ国の厳しい財政状況の中、「クラシック音楽を身近に」を訴えられる清水さんの目に涙が浮かんだ場面もあり、いろいろな面で感動させていただいたコンサートとなりました。このクリスマスコンサートを行うことができるのも、地元の湖東信用金庫様から毎年頂いているご寄付のおかげです。ありがとうございました。

☆家族向けイベント「冬の森でたき火を楽しもう！」

1月16日（土）10:00～15:00 定員20人 400円
小学生とその保護者対象の、冬の森でたき火を楽しむイベントです。お孫さんとでもOK。お申し込みはネチャーセンターまで。

☆1月の木ままクラブ

1月は14日（木）と21日（木）が木ままクラブ活動日です（9:00～15:00）。そもそも枯れ対策の特別活動日としてスタートした木ままクラブも、2010年で丸3年経ちます。2009年は枯れ対策だけでなく、途方に暮れるほど大量の大雪被害枝処理をはじめ、歩道・木道づくりまで様々な作業を実施していただき、25回・255人の参加がありました。1月からは、枯れ被害木の伐採作業を中心に行う予定です。

☆1月の作業日、お昼は？

毎年1月の第2土曜作業日のお昼は、おいしいぜんざいが出ます。甘い物好きの方もそうでない方も、新年最初の作業を楽しみましょう。冬は落ち葉かきのシーズン。晴れていれば飛ぶ虫達の作業もたくさんありますよ！

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！